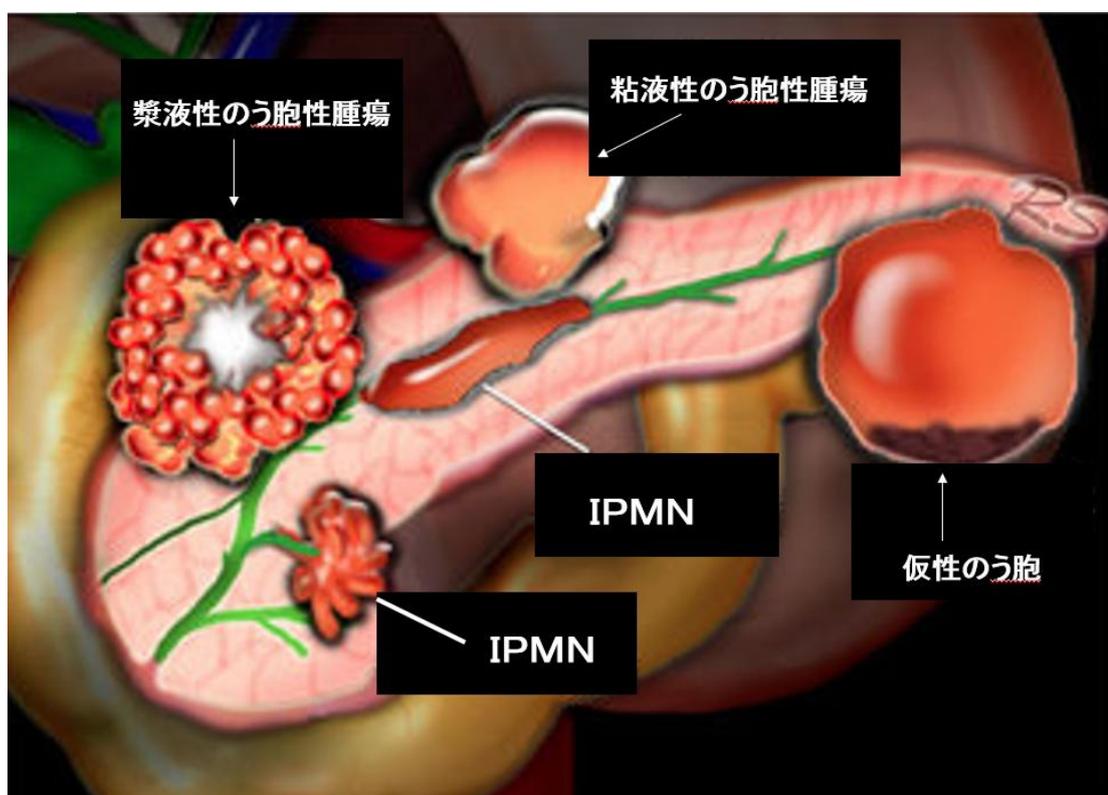


QA 膵（すい）のう胞について

膵のう胞とは、すい臓の内部にできるさまざまな大きさの「袋」のことで、症状はなく超音波、CT、MRI検査などにより偶然発見されることが多い病気です。膵のう胞には腫瘍性と非腫瘍性のものがあり、腫瘍性の中には良性と悪性のものがあります。これらを区別するには、経験豊富な医師の診察が必要になります。とくに、膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）と粘液性嚢胞腫瘍（MCN）は、最初は良性であってものちに悪性化することがあるため、経験豊富な医師のもとで厳重に管理する必要があります。



さまざまな種類の膵のう胞



膵のう胞（↑）のCT像